



「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

学校名 [ 仙台市立中野学校 ]                      氏名 [ 色摩 理好 ] [ 中 ] 学校      [ 29 ] 年版      単元名 [ ともに育つ ] P18～19 教科・領域名      [ 道徳 ]      [ 時間 50分 ]	
主な学習活動      (実際に行った活動)	指導の実際
<p>【ねらい】 内容項目B-(6)思いやり，人間愛                  多くの人々の善意により日々の生活があることに気づき，思いやりの心をもって人と接するとともに，人間愛の精神を深める。</p> <p>1 P18を読み，六郷中の生徒と東六郷小の児童が                  お互いの行事に参加し合っていることを知る。                  ・仙台市津波避難エリアマップを見て，東六郷小が被災したことを知る。                  ・六郷中と東六郷小が近いことを地図で確認する。</p> <p>2 共に行事に参加し合う中学生と小学生の思いを                  考える。</p> <p>3 同じ校舎で小学生と過ごすことになったら，どん                  なことを配慮するか考える。                  ・優しく接する      ・小学生を優先してあげる                  ・自分から進んで遊びに誘う      ・勉強を教える</p> <p>4 人と人がともに生活する時，どんな思いを大切                  にしなくてはいけないか。</p> <p>・協力      ・思いやり                  ・励まし合う気持ち                  ・助け合う気持ち                  ・「お互いがお互いのために」                  と思う気持ち</p>  <p>5 P19「4・お互いを思いやる気持ちを自然に」                  の文章を読む。</p> <p>6 今日の授業を振り返り，感想を書く。</p>	<p>【準備物】 防災副読本，仙台市津波避難エリア                  マップ，ワークシート</p>  <p>○八乙女中学校と南光台小学校が同じ校舎で                  過ごした時の実践例を紹介。                  ・授業時間が違うためノーチャイムを実施                  ・昼休みの校庭使用区割り(安全確保)等                  ※具体的に考えるようになり，当時の思いを更に真剣に想像する。</p> <p>○価値の一般化をはかる。</p> <p>○「小学生を優先する」「中学生は我慢する」                  という生徒の発言を取り上げることで，ねら                  いに深く迫る。</p> <p>●生徒の感想</p> <p>・思いやりの気持ちをもつと優しさが生まれ，                  信頼し合ったり絆を深めたりすることがで                  けるようになることを学んだ。                  ・自然に思いやれる人になりたい。                  ・みんなが思いやって生活すれば，たくさん                  のことができると思った。                  ・思いやりの心が生まれると，みんなが良い気                  持ちになることが分かった。                  ・お互いを思いやること，交流し合うことは大                  切だと思った。</p>